

No	環境基本計画(実施計画)体系			3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算額(円)	会計区分				SDGs 主要原則		
	頁					部	課	係						款	項	目	事業			
1	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	①水質汚濁防止	25	下水道法に基づく市内事業者に対する指導を継続します。また、特定施設以外の排出源に対する規制が課題であることから、発信時期・方法を検討するなど、周知を工夫します。	水質汚濁防止の啓発	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		広報による周知を実施する。		下水排水に関する広報を2回実施した。	A						参画型
2	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	②河川維持水量の確保	25	まちづくり計画課 河川維持水量について状況の変化を注視し、現況把握を続けていきます。	河川維持水量の確保要請	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		河川維持水量の確保に向けて、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。		福生市宅地開発等指導要綱に基づき10件の協議を行い、うち該当する2件について緑化や植樹の指導を行った。	A	0	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事務費	透明性と説明責任
3	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	③湧水の保護	26	関係する団体との意見交換会において、市内の湧水群及びその周辺環境の保全について情報の収集と共有を行い、異変があった際に対策を検討し、実行できる体制を整えていきます。	湧水の保護の情報収集	生活環境部	環境政策課	緑と公園係		拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護に向けて、多摩川沿岸の8市によって構成される「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」に参加することにより、保全の取組について情報収集を行う。		「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」の会議に参加し、拝島段丘の崖線に連なる湧水群その周辺環境保護に関し、情報収集を行った。	A						参画型
4	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	③湧水の保護	26	大学との協働により水質検査を継続して行うとともに、結果の公表についても検討し、市民に対して湧水の現状の周知意識啓発を図ります。	湧水地点水質調査	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	法政大学山崎研究室との協働により、湧水の保全を目的とした、湧水地点5か所と多摩川における現状把握と水質検査を隔月で行う。		雨天により延期となってしまった月もあったが、大学と日程調整を行い、予定どおり6回の水質検査を行った。	A						参画型
5	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	④地下水のかん養・冠水防止	26	宅地開発事業者に対して、宅地内浸透の指導を継続するとともに、一般家庭を対象とした雨水の浸透ます、貯留槽の助成を行うことで、雨水の宅地内処理を促進します。	地下水のかん養・冠水防止	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		一般家庭を対象とした雨水の浸透ます、貯留槽の助成及び宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を実施する。		雨水浸透ます2か所(8個)352,000円、貯留槽5基139,000円の助成を行った。開発指導を11件行った。	A	491,000	下水道事業費用	営業費	総係費		参画型
6	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	④地下水のかん養・冠水防止	26	東京都環境確保条例に基づき、事業者に対する地下水の揚水量指導に努めます。	地下水揚水量報告	生活環境部	環境政策課	環境政策係		東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため、適正使用の指導等を行う。		市内15事業所及び個人1か所から地下水揚水量報告書の提出とともに、適正使用について指導を行った。	A						透明性と説明責任
7	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑤水循環の学習促進	26	多摩川上流水再生センターの見学などにより、下水道や雨水ますと河川のつながり、地下水保全などに関する学習機会を提供します。学校での関連学習の実施時期に合わせて見学会をPRすることで参加者を拡大し、福生市の現状について併せて伝えていきます。	水循環の学習	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、小平市ふれあい下水道館への見学について検討する。		下水道の啓発活動として、市内在住の小中学生と保護者を対象に下水道施設見学会を実施した。日時:8月10日 見学場所:ふれあい下水道館 参加人数:子ども14名 大人8名	A	40,073	下水道事業費用	営業費	総係費		参画型
8	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑥水害予防対策	26	近年の自然災害などの状況を踏まえ、引き続き多摩川整備促進協議会を通じて国土交通省に対し整備促進を要望していきます。 災害対策工事の際には、生き物の生息地の保全や親水性の維持など、重視すべき環境配慮内容について環境課を通じて把握するなど、整備促進と併せて要望していきます。	災害に備えた河川整備	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		近年の自然災害の状況等を踏まえ、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。 また、災害対策工事の際には、環境政策課を通じて生物の生息地保全や親水性維持等、重視すべき内容を把握し、整備促進と併せて要望していく。 ※予算額はNo2と重複		17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて国土交通省へ要望を行った。 幹事区市による要請行動:令和5年8月3日	A	0	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事務費	透明性と説明責任
9	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑦川の自然観察などの促進	26	市民が自然や生物への興味・理解、流域思想を持ち、より主体的に学習や保全活動に取り組めるよう、福生水辺の乗校や小中学校における多摩川の総合学習支援など、様々なプログラムを実施します。 また、環境活動が継続されるよう、環境リーダーの育成も引き続き実施します。	福生水辺の乗校「多摩川で遊ぼう」等の事業	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	○福生水辺の乗校「多摩川で遊ぼう」(14回)、「多摩川サポーターズ」(2回)で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施するとともに、活動を通じて次なる担い手の育成を行う。 ○「小中学校における多摩川の総合学習支援」として、多摩川や自然を題材とした総合的な学習の時間において、体験活動や授業の支援を行う。(概ね30回) ○「ヤマメの卵配布事業」として、応募のあった小中学校へヤマメの卵を配付し、学校で孵化させた後、児童・生徒が多摩川へ放流する事業を実施する。(概ね小中学校4~6校より応募がある)		○福生水辺の乗校「多摩川で遊ぼう」は全14回計画して13回実施し、参加者は518人、「多摩川サポーターズ」は全2回計画して2回実施し、参加者は58人であった。 ○「小中学校における多摩川の総合学習支援」を21回行い、延べ1,532人が参加した。 ○「ヤマメの卵配布事業」は、小中学校で合わせて5校が活動に参加した。	A	1,840,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型
10	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑧河川環境保全活動の推進	26	市民と京浜河川事務所との協働で河川一斉清掃を実施し、河川植生の再生を支援します。	河川一斉清掃	生活環境部	環境政策課	緑と公園係	★	6月の環境フェスティバルに合わせて、多摩川中央公園沿い河川敷において、市民による河川清掃を実施する。 また、この事業は国土交通省の多摩川クリーン作戦の一環として、京浜河川事務所と協働で事業を行う。		雨天中止 ※実施予定日:令和5年6月4日	D						参画型
11	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑧河川環境保全活動の推進	26	市民、研究者、行政が協力しカワノギクの絶滅を回避するための「カワノギクプロジェクト」を継続実施します。プロジェクトの市民認知度の更なる向上に努めます。	カワノギク保全活動	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワノギクの絶滅を回避するため、年4回の保全・復元作業を行うとともに、認知度向上のための市民協働による案内看板の設置等を行う。		保全活動のボランティア募集を広報するとともに、年4回に渡って延べ122名が活動に参加した。また、看板設置のための調整を行い、令和6年度に完成の段取りを組んだ。	B						参画型
12	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑨多摩川に関する学習拠点の運営	26	水辺の乗校の拠点及び環境学習・研究などの場として、川の志民館の管理運営を行います。	川の志民館管理	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動や情報発信の拠点として、川の志民館の管理・運営を行う。		地元町会と連携して川の志民館を会館し、来館者に多摩川などに関する学習の場を提供した。また、機械整備等により、施設の適正管理に努め、異常の感知等、会館状況を月単位で報告させた。 利用者674人	A	166,980	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算額(円)	会計区分				SDGs 主要原則
	部	課	係				款	項	目						事業				
13	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	①樹林地などの開発抑制・保全	27	宅地開発等指導要綱に基づき、該当する案件について緑化や植樹の指導を行います。	樹林地等の開発抑制・保全	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		福生市宅地開発等指導要綱に基づき、該当の開発行為には、敷地の一部を緑化するよう指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき10件の協議を行い、うち該当する2件について緑化や植樹の指導を行った。	A						透明性と説明責任
14	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	①樹林地などの開発抑制・保全	27	緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地などの指定及び奨励金の交付を通じて保全を図ります。 また、定期的に所有者の状況確認を行うことで維持につなげるとともに、市内に残された樹林地の価値を市民が認識・共有できるような取組について検討します。	保存樹林地等の指定等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定及び指定した樹林地等への奨励金交付を通じて緑の保全を行う。 また、保存樹林地等の所有者の状況を確認し、保全につながるよう取り組む。	保存樹林地等の指定を次のとおり行い、奨励金の交付を通じて継続した緑の確保に努め、新規の申請もあったが、枯死等により減少してしまった。 宅地介在山林(3件・4筆・1,651㎡)、一般山林(2件・3筆・669㎡)、保存樹木(30件・147本)、保存生垣(119件・124か所・延長2,350m)	B	2,417,900	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	透明性と説明責任
15	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	①樹林地などの開発抑制・保全	28	緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置などに係る補助を継続します。補助制度がより有効に活用されるよう、交付条件の変更を検討します。広報掲載だけでなく、近隣のハウスメーカー、工務店などに情報提供し、制度の活用を図ります。	生垣の設置補助等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置等にかかる費用の補助を行い、緑化の推進を図る。補助の利用につなげるよう、近隣の住宅展示場や造園業者などに制度の周知を行う。 また、利用が促進されるよう、交付条件の見直しについて検討する。	従前の広報、ホームページに加え、生垣の設置を行う造園業者にも専用のチラシを作成して制度の周知を行ったが、申請はなかった。	B	0	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	参画型
16	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	②街区公園などの維持管理	28	緑の基本計画などに基づき、市街地の身近な公園を適正に維持管理します。また、公園ボランティアなどの情報交換を促進し、公園や雑木林における生物多様性の状況の共有、公園の特性に応じた管理方法の検討、公園設備の長寿命化に向けた方針の検討を行います。	街区公園等の維持管理	生活環境部	環境政策課	緑と公園係	★	市街地の身近な公園を適正に維持管理するために、公園ボランティアと協働で清掃、除草等を行い、公園内の美化に努める。 また、公園ボランティアに対する支援(用具の支給、ボランティア保険の加入)を実施し、公園ボランティア制度の充実を図る。	・活動内容 市内公園のごみの収集、除草、樹木花壇の維持管理、情報提供等 ・実施場所 50公園 ・登録人数 389人、14団体(令和6年3月末現在)	A	41,459	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	参画型
17	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	③自然再生事業の展開	28	都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などにおける萌芽更新など自然再生の取り組みを推進します。従来の植生に配慮し、その場所に適した手法による保全を進めます。行政、市民ボランティア、委託事業者の役割と作業分担を明確にし、効果的な取組を進めます。	自然再生事業の展開	生活環境部	環境政策課	緑と公園係	★	都市計画公園や都市緑地などの樹林地の自然再生の取り組みを推進する。 また、文化の森(福生公園)、みずくらいど公園、加美上水公園についてはボランティア団体による、下草刈りや落葉清掃、外来種の除去等、樹林地の再生に取り組んでいるが、高木の剪定等、専門性が求められる場合は、業者委託により作業する等、役割分担を明確にし、効果的な取り組みを進めていく。	・福生萌芽会【文化の森(福生公園)】:年10回延べ76名 ・福生加美上水公園自然塾【加美上水公園】:年27回延べ137名 ・水喰土ボランティア【みずくらいど公園】:年18回延べ64名	A	0	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	参画型
18	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	④外来生物・野生生物への対応	28	市内のアライグマ、ハクビシンを駆逐するため、「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に同意し、広域的な視点を踏まえ、取組を継続します。市民への周知・情報共有を強化していきます。	外来生物(アライグマ、ハクビシン)防除	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	市民からの情報提供を受けるため定期的な広報掲載やポスターの作成、掲示を行い、専門性を有する事業者への委託により、アライグマ、ハクビシンの捕獲防除を実施する。 また、捕獲防除を効果的に進めるため、定点、検証地、希望する市民宅の三本柱で実施していく。	罫は、定点として3か所に7基、検証地として5か所に7基、市民対応として19か所に29基、それぞれ設置して防除した。 アライグマ31頭、ハクビシン20頭 計51頭	A	2,651,880	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型
19	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	④外来生物・野生生物への対応	28	市内のクビアカツヤカミキリを駆逐するため、施設管理者との協力体制を徹底対応を行います。また、近隣自治体と協議し、広域的な視点を踏まえ、取組を継続します。市民への周知・情報共有を強化していきます。	外来生物(クビアカツヤカミキリ)防除	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	多摩川堤防沿い桜並木及び柳山公園を中心に防除を行うとともに、市内公共施設及び市が管理している施設についての生息・被害状況調査を実施する。 [一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。]	前年度の調査結果を踏まえ、多摩川堤防沿いの桜並木を中心に、次のとおり防除対策を講じた。 ・被害樹木への防除ネット設置 20か所 ・被害樹木の見回り 60日 ・被害樹木への薬剤散布 67本 ・市民説明会の実施 1回 また、市有施設についての生息・被害状況調査を実施した。	A	1,244,306 [22,377]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型
20	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	④外来生物・野生生物への対応	28	地域猫制度への理解・協力の促進とモデル地区の拡充を図るため、町会、自治会長宅をボランティア団体と共に訪問します。また、飼い主のいない猫に起因する相談、苦情などの減少を目指し、ボランティア団体が取組を継続できるよう支援します。	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	モデル地区における飼い主のいない猫に対する去勢・不妊手術等を行い、適正な飼養管理を行っている。また、ボランティア団体の支援等を通じて、地域猫の取り組みが拡大するよう周知を図り、制度理解を促進させる。	福生地域ネコの会定例会等で情報共有、広報等による地域猫制度等のPRを行うと共に、登録団体に対して去勢・不妊手術費の助成を行った。	A	178,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型



No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算額(円)	会計区分				SDGs 主要原則	
	部	課	係				款	項	目						事業					
32	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	①地域バリアフリーの推進	31	公共施設のバリアフリー化について、事業担当課への情報提供を継続して行うとともに、一般市民に対する情報発信なども行い、意識の啓発に努めます。	バリアフリー及びユニバーサルデザインの推進	福祉保健部	社会福祉課	福祉総務係		バリアフリー及びユニバーサルデザインに関する情報提供を事業担当課及び一般市民に行い、普及・啓発に努める。 福生市バリアフリー推進計画の進行管理を行い、達成状況を分析・評価し改善するとともに、福生市地域福祉・バリアフリー推進会議や福生市地域福祉推進委員会による進捗状況の評価を行い、施策を推進することができた。 東京都福祉のまちづくり条例に基づき、特定都市施設の新設に際し、整備基準への適合遵守を確認し、届出を受理した。(令和5年度:2件)		A							参画型
33	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	②中心商業地区の安全化・快適化	31	商店街によるにぎわい創出の取組を支援するとともに、空き店舗を活用した創業支援を行います。	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 空き店舗活用補助金	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金を活用し、商店街が実施するスタンプラリー等のイベント事業、案内看板の書き替えなどのハード整備とまた、市内の空き店舗を活用して創業しようとする者等に対し空き店舗活用補助金を交付して創業支援を行う。	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金について、当初計画されていた10事業のうち8事業が実施された。また、空き店舗活用補助金については、申請のあった8事業者に対して交付し創業支援を行った。	B	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 5,417,000 空き店舗活用補助金 3,943,642	商工費	商工費	商工費	商工業振興事業	統合性	
34	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	③生活道路の安全化	32	PTA、警察、教育委員会、道路管理者などと共に点検を行い、市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め、交通管理者と協議の上、安全対策を行います。	通学路点検	都市建設部	道路下水道課	管理・交通安全対策グループ		11月頃、教育委員会の呼びかけに応じて小学校7校で実施する。管理・交通安全対策グループ、道路グループの高係で参加予定。	9、10月に教育総務課、道路下水道課、学校、PTA、福生警察署交通課と合同で点検を行い、要望により外側線の塗り直し等を行った。	A						参画型	
35	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	③生活道路の安全化	32	PTA、警察、教育委員会、道路管理者などと共に点検を行い、市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め、交通管理者と協議の上、安全対策を行います。	生活道路の安全化	都市建設部	道路下水道課	道路グループ		狭い道路の解消等、安全で快適な道路空間の確保に努める。 また、必要な箇所については交通管理者との協議を行い、交通規制等対応をする。	通学路点検などから市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め、交通管理者との協議を行い、交通安全対策等を行う。	A	18,196,949	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	交通安全施設管理事務	参画型	
36	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	④耐震化の促進	32	耐震改修促進計画に基づき、引き続き住宅の耐震改修を呼び掛けていきます。また、緊急輸送道路沿道の建築物については、所有者との定期的な現状共有を行います。	市内の建物の耐震化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		昭和56年以前に建築された2階建て以下の木造住宅に対し、耐震診断及び耐震改修の費用の一部を助成する制度について、広報、ホームページで周知していく。	昭和56年以前に建築された2階建て以下の木造住宅に対し、耐震診断及び耐震改修の助成制度について広報及びホームページにより周知した。 (令和5年度 木造住宅耐震改修1件)	A	500,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事業	統合性	
37	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑤住宅や事業所などの緑化	32	緑地開発等指導要綱などに基づき、該当する案件について緑化や植樹の指導を行います。(再掲)	住宅や事業所などの緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		福生市宅地開発等指導要綱に基づき、該当の開発行為に対し、敷地の一部を緑化するよう指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき10件の協議を行い、うち該当する2件について緑化や植樹の指導を行った。	A						透明性と説明責任	
38	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑥公共施設などの緑化	32	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。	公共施設等の緑化	企画財政部	公共施設マネジメント課	公共施設グループ		公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。	可能な限り緑地を確保できるよう、意識して業務に取り組んだが、該当案件がなかった。	B						透明性と説明責任	
39	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑦生産緑地の保全・活用	32	農業振興計画に基づき、生産緑地など農地を保全するとともに、営農への意欲向上を図るなど都市農業への支援策を検討します。	農業振興事業 市民農園管理事務	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		生産緑地など農地を保全するために、農業者向けに農地パトロールの実施や支援策の周知を行う。また、使用期間満了となる市民農園はいため更新整備工事等の予定はないが、定期的なパトロールを実施して維持管理に努める。	農業委員会だより「福生Farmer」、毎月開催される西多摩農業協同組合野菜部会等で各種周知を行った。また、市内の7カ所の市民農園は定期的なパトロールを実施して維持管理に努めた	A	0	農林水産業費	農業費	農業費	農業振興事業 市民農園管理事務	統合性	
40	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑧花や緑のあるまちづくり	32	花いっぱい運動を通じて、市内美化に取り組む団体及び生産者の支援を継続して行います。 また、ガーデニングや家庭菜園など、家庭における緑化促進のための方策について検討します。 あわせて、業務委託を通じて、環境課が管理を行う花壇を専門事業者により適正に維持管理し、花や緑があふれるまちづくりを継続します。	ふっさ花いっぱい運動等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		市内生産者が生育した草花苗を活用した花いっぱい運動(春・秋の2回)を実施し、市内の花壇等への植栽支援や、市民参加型のコンテストを通じて、市内美化を図る。 また、専門事業者へ業務委託を行い、市内花壇の適正な管理に努める。[一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。]	花とみどりあるまちづくりのため、花いっぱい運動を春と秋の2回、花いっぱいコンテストを2回行った。	A	544,500 [151,012]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	参画型	
41	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑨花や緑のあるまちづくり	32	緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置などに係る補助を継続します。補助制度がより有効に活用されるよう、交付条件の変更を検討します。広報掲載だけでなく、近隣のハウスメーカー、工務店などに情報提供し、制度の活用を図ります。(再掲)	生垣の設置補助等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置等にかかる費用の補助を行い、緑化の推進を図る。令和4年度の実績を踏まえ、補助の利用につながるよう、造園業者などに制度の周知を行う。 また、利用が促進されるよう、交付条件の見直しについて検討する。	従前の広報、ホームページに加え、生垣の設置を行う造園業者にも専用のチラシを作成して制度の周知を行ったが、申請はなかった。	B	0	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	参画型	
42	潤い豊かな 安心できる まちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑩花や緑のあるまちづくり	32	市内生産者の状況を踏まえて、草花苗の生産及び配布を行い、花いっぱい運動の実施と農業振興につなげます。	草花苗生産委託	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		春と秋に実施する花いっぱい運動で使用する草花苗について、市内農業者で組織するグリーンクラブ福生に委託し、生産及び配布により農業振興を図る。	草花苗の生産及び配布についてグリーンクラブ福生に委託し、花いっぱい運動の実施にも繋げ農業振興を図った。	A	6,866,500	農林水産業費	農業費	農業費	農業振興事業	統合性	

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算額(円)	会計区分				SDGs 主要原則
	部	課	係				款	項	目						事業				
43	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	①ごみを減 らす生活の 呼び掛け	33	広報ふっさや市ホームページ、清掃だよりに加えて、新たに開始する福生市公式アプリ内のごみ・リサイクル情報を活用して、情報発信に努めます。特に、食品ロスやプラスチックごみについての家庭における発生及び排出抑制に関する情報発信を強化していきます。	ごみを減らす生活の呼び掛け	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		清掃だより、広報ふっさ、福生市公式アプリ等を活用し、ごみの発生抑制及び適正な分別排出、減量化・資源化を推進する。また、食品ロス及びプラスチックごみ削減に関する情報発信等に努める。	清掃だより、広報ふっさ、福生市公式アプリ等を活用し、ごみの発生抑制、適正な分別排出、減量化を推進するとともに、ごみ・資源収集情報を掲載した。また、食品ロス削減及びプラスチックごみ削減のweb展示を継続実施するとともに、フードドライブを適年実施し、食品ロス削減の推進を図った。	A	729,005	衛生費	清掃費	清掃費	清掃事務	参画型
44	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	②事業系 一般廃棄 物の減量	33	提出された廃棄物・再利用物処理計画書への指導や収集段階における直接指導により、事業系一般廃棄物の減量化・資源化及び適正排出に努めます。	事業系一般廃棄物の減量	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		事業系一般廃棄物処理計画書の提出促進と適正排出への指導、減量化・資源化への働きかけを実施する。	食品廃棄物等の減量及び資源化を促進するため、新たに一般廃棄物収集運搬業許可申請時の資源化計画書及び年に1回の資源化報告書の提出を求めることを許可業者33社に通知した。また、許可業者及び排出元事業者129社に対し、資源化推進の協力を依頼した。	A	286,000	衛生費	清掃費	清掃費	収集運搬 事業	統合性
45	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	③ごみに関 する学習機 会の提供	33	小学4年生の社会科学習に活用できる副読本「ごみのゆくえ」の作成において、ごみ処理・資源化の流れに加え、家庭におけるごみや資源の発生及び排出抑制の推進に向けた内容を充実させます。	ごみに関する学習機会の提供	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		小学4年生の社会科学習に活用するため「ごみのゆくえ」を作成し、環境教育を推進する。	「ごみのゆくえ」を作成し、市HPに掲載するとともに、社会科学習等に活用するため小学4年生以上の学習用タブレット端末に配信した。	A	44,000	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対 策事業	参画型
46	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	④分別によ る資源化	34	ごみと資源の適正な分別排出と資源化へ向けて、適正排出を周知徹底するとともに、食品ロスやプラスチック削減などの取組を継続実施します。	分別による資源化	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		ごみ・リサイクルカレンダー、ごみ・資源分別一覧、公式アプリ等を活用し、ごみと資源の適正な分別排出の周知を図るとともに、廃棄物減量監視事業を実施する。	ごみ・リサイクルカレンダー、ごみ・資源分別一覧、公式アプリ、市ホームページ等を活用し、ごみと資源の適正な分別排出の周知を図るとともに、西多摩衛生組合において抜き打ち検査を行った。	A	0	衛生費	清掃費	清掃費	収集運搬 事業	参画型
47	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑤バイオマ ス資源化	34	食品ロス削減に向けた更なる周知を進めるとともに、生ごみ堆肥化容器貸与制度などの活用促進に向けて市民へ広く周知し、家庭における生ごみの発生及び排出抑制、資源化を促進します。	バイオマス資源化	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		清掃だより、広報ふっさ等による、食品ロス削減の啓発活動を実施する。また、生ごみの減量化・資源化を促進するため、生ごみ堆肥化容器の貸与等を実施する。	フードドライブの実施 135件 955kg 生ごみ堆肥化容器貸与 10基 生ごみ処理機器購入費補助 6基	A	269,490	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対 策事業	参画型
48	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑥地域リサ イクルシス テムの強化	34	地域での資源リサイクルシステムとして、資源回収実施団体報償金制度を継続します。	地域リサイクルシステムの強化	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		地域の資源回収実施団体を支援し、地域リサイクルを推進する。	資源回収実施団体報償金交付事業 65団体、実施回数690回	A	8,811,319	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対 策事業	参画型
49	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑥地域リサ イクルシス テムの強化	34	市民団体によるフリーマーケットの広報協力を継続します。	フリーマーケットの開催支援	生活環 境部	シテイ セールス 推進課	産業活 性化グ ループ		市内で実施しているフレンドシップパークフリーマーケットについて、広報・HPで周知する。	令和6年3月にフリーマーケットを再開した。今後は継続して実施していく予定	B						参画型
50	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑦適正な中 間処理・最 終処分 の推進	34	リサイクルセンターにおける不燃廃棄物などの資源化を継続して実施し、選別の徹底による適正処理に努めます。	リサイクルセンターの適正な運営	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	リサイ クルセ ンター 係		不燃廃棄物の資源化については専門業者に処理委託を行っており、毎朝の業務連絡会等において、選別の徹底による適正処理について引き続き指導する。	毎朝、業務連絡会を実施。必要に応じて随時、選別の徹底による適正処理について指導した。	A	129,878,537	衛生費	清掃費	清掃費	廃棄物処 理費	透明性と説 明責任

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算額(円)	会計区分				SDGs 主要原則
	部	課	係				款	項	目						事業				
51	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	①低炭素型ライフスタイルへの転換	36	市内の一般家庭における効果的・効率的なエネルギー利用を促すため、市民団体や事業者と連携して具体的な省エネ対策に関する情報提供を強化します。再生可能エネルギーを供給する新電力への切替え、省エネ型家電への買替え促進策(助成、キャンペーン、家電診断など)、ZEHや省エネ住宅、省エネリフォームなどに関する情報提供を事業者と連携して住宅タイプ別に進め、快適な暮らしと低炭素型ライフスタイルの両立を促します。	「かんきょう通信」等による情報提供	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	市民との協働により編集を行う「かんきょう通信」等を通じて、省エネ対策や再生可能エネルギーへの切り替え等、一般家庭における地球環境と家計に有益な情報の提供を行う。	広報やホームページを通じて、東京都が行う省エネ家電をお得に買い替える「東京ゼロエミポイント」について周知するとともに、市民協働により編集・発行する「かんきょう通信(12月52号)」を通じて、家庭でできる地球温暖化対策や市の取組等を掲載し、普及・啓発を行った。	A	426,978	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型
52	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	②事業活動における地球温暖化対策	36	市内の民生部門排出量は、業務部門が家庭部門の約2倍となっていることから、中小規模事業者に対し、活用可能な支援制度を積極的に情報提供し、事業部門でのCO2削減対策を促進します。	事業所における省エネルギー関連情報等の提供	生活環境部	環境政策課	環境政策係		国や都が行う、低炭素型の事業活動への支援策等の情報を収集し、事業者により活用が促進されるよう、広報ふっさ等を通じて情報発信を行う。	工場、指定作業所の届出に関する相談や受付の際、東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)などの補助金・助成金についての情報提供を随時行った。	A						透明性と説明責任
53	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	第4次地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化の取組を継続します。また、あらゆる事務事業において省エネルギーなどの環境配慮を基本とし、市民への情報発信を積極的に行います。	福生市環境マネジメントシステム「F-e」を通じた取組	生活環境部	環境政策課	環境政策係		新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せてきていることから、昨年度のレポートによる監査等を含め、監査等の実施方法について、市民監査委員の意見を踏まえ検討し、適切に実施する。また、コロナ禍で計画値を超過傾向にある温室効果ガス排出量の削減に向けて具体的な検討を行う。	昨年度に続きリモート監査と新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、4年ぶりとなる現場監査を合わせたハイブリッド式で行った。熱中症及び感染症に対応するため空調の使用量増加もあるが、施設の改修や設備更新により一定の削減効果も認められた。	A	616,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型
54	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を活用した快適な環境づくりを視野に計画します。	小学校防音機能復旧(復機)事業	教育部	教育総務課	教育総務係		令和5年度～令和6年度 福生第一小学校(校舎)工事 福生第七小学校(校舎)工事 令和5年度 福生第二小学校(校舎・講堂)実施設計	第二小学校(校舎・講堂)の空調設備更新工事の設計、第一小学校(校舎)及び第七小学校(校舎)の空調設備更新工事の契約、第一小学校(新校舎)の空調設備更新工事を行った。	A	207,281,017	教育費	小学校費	学校管理費	小学校防音機能復旧(復機)事業	統合性
55	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を活用した快適な環境づくりを視野に計画します。	中学校防音機能復旧(復機)事業	教育部	教育総務課	教育総務係		令和5年度 福生第三中学校(校舎)工事 令和5年度～令和6年度 福生第二中学校(校舎・講堂)工事 令和5年度 福生第一中学校(校舎・講堂)実施設計	第一中学校(校舎・講堂)の空調設備更新工事の設計、第二中学校(校舎1期)空調設備更新工事の契約、第二中学校(講堂)、第三中学校(校舎2期)の空調設備更新工事を行った。	A	216,868,937	教育費	中学校費	学校管理費	中学校防音機能復旧(復機)事業	統合性
56	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を活用した快適な環境づくりを視野に計画します。	中央図書館改良事業	教育部	図書館	管理係		令和4年度～令和5年度 工事	老朽化した空調設備等を更新し、環境負荷低減を図る中央図書館改良工事が完了しました。各部屋で個別に温度調整等ができる個別空調化の整備を行いました。	A	878,508,368	教育費	社会教育費	図書館費	中央図書館改良事業	統合性
57	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	車両更新時には燃費性能の優れた車両を導入するとともに、公用車使用の抑制(自転車利用、ルート設定の工夫など)とやむを得ず公用車を使用する場合のエコドライブを徹底します。	車両管理事務	総務部	契約管財課	管財係		市内を移動する際は、極力、自転車の利用を推進し、公用車使用の抑制に努めます。また、公用車を使用する場合は、アイドリングストップ等、エコドライブの徹底を図ります。	市内を移動する際は、極力、自転車の利用を推進し、公用車使用の抑制に努めました。また、公用車を使用する場合は、アイドリングストップ等、エコドライブの徹底を図りました。	B						透明性と説明責任
58	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	車両更新時には燃費性能の優れた車両を導入するとともに、公用車使用の抑制(自転車利用、ルート設定の工夫など)とやむを得ず公用車を使用する場合のエコドライブを徹底します。	車両管理事務	生活環境部	環境政策課	環境政策係		財政課や車両所管課と調整を行い、補助金等を活用して電気自動車への買い替えを進める。また、市内を移動する際は、極力、自転車の利用を推進するとともに、公用車使用の際はガソリン車ではなく電気自動車を率先して利用し、温室効果ガスの排出抑制に努める。	電気自動車等の購入及び令和4年度購入分の補助金申請(補正予算分)を行った。また、荷物が無い場合は自転車を積極的に使用し、環境負荷低減に努めた。	A						透明性と説明責任
59	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	森林整備及びその促進に関する財源として創設された森林環境譲与税の活用を通じて、森林吸収源対策につながる多摩産材を利用した公共施設等の整備を促進します。	積立金(森林環境譲与税基金)	企画財政部	財政課	財政係		公共施設等の整備にあたり、多摩産材を利用することが可能な場合、森林環境譲与税、及び森林環境譲与税基金の活用を検討します。活用事業がない場合は、森林環境譲与税を基金へ積み立て、後年の活用に備えます。	活用事業がなかったため、森林環境譲与税(6,190,000円)及び森林環境譲与税基金積立金(245円)を後年の需要に備え全額基金へ積み立てた。	A	6,190,245	諸支出金	基金費	森林環境譲与税基金	積立金	透明性と説明責任

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算額(円)	会計区分				SDGs 主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
60	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	④交通の 省エネ化	37	自転車を利用しやすいまちづくりとして、 自転車駐輪場の維持管理、放置自転車 対策(放置防止指導、撤去、保管場所での 管理業務など)、自転車ナビマークの 維持補修を含めた道路の整備等を継続 するとともに、自転車乗車時のマナー向 上に向けた情報発信や学習機会の提供 を行います。	放置自転車対策事務	都市建 設部	道路下 水道課	管理・交 通安全 対策グ ループ		放置自転車撤去業務は日、祝日、年末年始を除く毎日実施予定。	A	13,144,899	土木費	道路橋りょう費	交通安全 管理費	交通安全 管理費	参画型	
61	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	④交通の 省エネ化	37	自転車を利用しやすいまちづくりとして、 自転車駐輪場の維持管理、放置自転車 対策(放置防止指導、撤去、保管場所での 管理業務など)、自転車ナビマークの 維持補修を含めた道路の整備等を継続 するとともに、自転車乗車時のマナー向 上に向けた情報発信や学習機会の提供 を行います。	自転車のまちづくり	都市建 設部	道路下 水道課	道路グ ループ		福生警察署と協力して、自転車ナビマーク等の 設置・補修を推進し、自転車走行空間の確保に 取り組む。	B	0	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	交通安全 施設管理 事務	統合性	
62	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	④交通の 省エネ化	37	サイクルシェアリングシステムについて は、経年劣化の状況や利用拡充及び広 域連携を含め、今後の実施方法につ いて検討を行います。	サイクルシェアリング事業	生活環 境部	環境政 策課	環境政 策係		新たに導入したサイクルシェアリングの仕組みが 市域内で定着し、利用回数が増加するようPR活 動を行うとともに、近隣自治体との連携を促進さ せ、更なる広域連携を図る。	A	4,800,000	衛生費	保健衛生 費	環境保全 費	環境政策 事務	統合性	
63	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	④交通の 省エネ化	37	公共交通機関などへの働き掛けにより、 公共交通の利便性向上を目指します。	公共交通の利用促進	都市建 設部	まちづ り計画課	計画グ ループ		JRを含む公共交通機関の利用促進のため、利 便性向上等、関係する協議会等を通じ要請して いく。	A	73,000	土木費	都市計画 費	都市計画 費	都市計画 事務	統合性	
64	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	⑤気候変 動への適応	37	気候変動により、市民生活に重大な影 響を及ぼす可能性のある事項について、 影響事例調べなどを通じた市民意識の 喚起、自助互助の手法や外国人住民・ 旅行者に対する情報発信などについて 検討します。 また、グリーンインフラとしての活用を踏 まえた、街路樹、公園樹木などの管理に ついて検討します。	ふっさ環境市民会議等への 支援	生活環 境部	環境政 策課	環境政 策係		市民団体が行う、地球温暖化や気候変動を題材 にしたセミナー等の実施を支援し、当事者及び参 加者に対する意識の醸成を図る。[福生スラク ム・マイナス50%協議会事業として行う。]	A	[29,038]					参画型	
65	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	⑤気候変 動への適応	37	気候変動により、市民生活に重大な影 響を及ぼす可能性のある事項について、 影響事例調べなどを通じた市民意識の 喚起、自助互助の手法や外国人住民・ 旅行者に対する情報発信などについて 検討します。 また、グリーンインフラとしての活用を踏 まえた、街路樹、公園樹木などの管理に ついて検討します。	歩道上の植栽ます等の管 理	都市建 設部	道路下 水道課	道路グ ループ		歩道上の植栽ますを適正に管理・維持すること と共に、蒸発散効果で気温の上昇を抑制する こと。	A	22,534,476	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	道路橋りょう 維持事務	統合性	
66	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	⑤気候変 動への適応	37	気候変動により、市民生活に重大な影 響を及ぼす可能性のある事項について、 影響事例調べなどを通じた市民意識の 喚起、自助互助の手法や外国人住民・ 旅行者に対する情報発信などについて 検討します。 また、グリーンインフラとしての活用を踏 まえた、街路樹、公園樹木などの管理に ついて検討します。	公園内の樹木等の管理	生活環 境部	環境政 策課	緑と公園 係		公園整備や修繕の際は、雨水の地下浸透を促す とともに、蒸発散効果で気温の上昇も抑制するた め、公園内の樹木を適正に維持・管理する。	A	66,605,338	土木費	都市計画 費	公園費	公園管理 事務	統合性	
67	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	⑤気候変 動への適応	37	防災マップの配布や出前講座などでの マイタイムライン作成の啓発など、災害 への備えに関する周知を強化してい きます。	風水害への備えに関する 啓発	総務部	防災危 機管理 課	防災危 機管理 係	★	「福生市防災マップ・多摩川洪水・内水ハザード マップ」について、市民へ広く周知するとともに、 市政出前講座等において「東京マイ・タイムライ ン」を活用した風水害への備えの啓発に努める。 《ハザードマップの配布について》 ・令和5年度増刷部数：4,000部 ・配布場所：防災危機管理課、総合窓口課 ・配布方法：市内転入者及び希望者に対し、随 時配布、ホームページへの掲載等	B	409,200	消防費	消防費	防災対策 費	災害対策 事業	透明性と説 明責任	

No	環境基本計画(実施計画)体系			3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算額(円)	会計区分				SDGs 主要原則	
	頁					部	課	係						款	項	目	事業		
68	環境教育・学習の推進	①学校での環境教育の推進	38	環境学習教員研修を継続し、教員を通じて、児童・生徒の環境に対する理解を深め、環境問題や環境保全などに対して主体的に関わる人材を育成します。	環境学習教員研修	生活環境部	環境政策課	環境政策係		教員1年目(初任者)、2年目の教員及び環境教育に関心のある小・中学校教員を対象に、福生市の自然と環境について学ぶ環境学習教員研修を実施する。	2日にわたる研修実施して、教育現場における環境学習の推進に努めた。	A	51,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型	
69	環境教育・学習の推進	①学校での環境教育の推進	38	学習指導要領に基づく環境教育と合わせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取組を支援します。コミュニティ・スクールの仕組みも活用し、環境学習など、持続可能な地域づくりのための人材育成を進めます。	理科支援員の配置	教育部	教育指導課	指導係		小・中学校の理科授業における体験的な学習を充実させるため、観察・実験等の支援を行う理科支援員を配置する。 [配置対象学年] 小学校(5・6年)、中学校(全学年)	理科支援員活動時間:743時間	A	813,840	教育費	教育総務費	教育指導管理費	理科教育推進事業	統合性	
70	環境教育・学習の推進	①学校での環境教育の推進	38	学習指導要領に基づく環境教育と合わせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取組を支援します。コミュニティ・スクールの仕組みも活用し、環境学習など、持続可能な地域づくりのための人材育成を進めます。	学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係		小学校4年生の社会科学習において、「ごみのゆくえ」(環境課作成)を活用。	・小学4年生の社会科学習において、資料として「ごみのゆくえ」を活用。	A							統合性
71	環境教育・学習の推進	①学校での環境教育の推進	38	学習指導要領に基づく環境教育と合わせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取組を支援します。コミュニティ・スクールの仕組みも活用し、環境学習など、持続可能な地域づくりのための人材育成を進めます。	学習指導市民講師による指導	教育部	教育指導課	指導係		コミュニティスクール委員等と連携し、学習指導市民講師(NPO法人自然環境アカデミー等)による指導を実施する。	学習活動市民講師活動回数(環境):0回 ・学習活動市民講師を環境教育として活用はしなかった。	D	0	教育費	教育総務費	教育指導管理費	教育指導事務	統合性	
72	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	39	各種イベントなどを活用し、市民に環境関連の情報発信を行います。 また、「かんきょう通信」や「福生市の環境」の作成など、市民団体との協働による事業を引き続き実施します。 あわせて、食品ロス削減やプラスチック問題などのパネル展示や市公式アプリなどを活用した情報発信を行います。	ふっさ環境フェスティバルの実施等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑みて行った、来場型イベントとまちなか全体を会場に見立てた昨年度の実績を踏まえ、更なる環境問題に対する参加者の認識を深め、意識の醸成を図る貴重な機会として「第21回ふっさ環境フェスティバル」を開催する。 また、目的達成のための企画・運営については、ふっさ環境フェスティバル実行委員会を中心に、その他市民や事業者を巻き込んで協働により行う。【一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。】	福生公園と福生市民会館を会場とし、密にならないようにした。また、SNS活用の拡充、環境に配慮している市内のお店等を回るスタンプラリーを実施し、環境負荷低減の普及・啓発及び産業活性化に努めた。	A	1,500,000 [665,049]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型	
73	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	39	子どもや親子を対象とした市内外のフィールドでの環境学習を継続して実施していく中で、参加した子どもや親子の環境や郷土に対する関心を高め、継続的な関わりにつなげるよう、事業間の連携を強化します。	・夏休み子ども見学会 ・わくわく土曜日「自然観察会」	教育部	生涯学習推進課	文化財係		・水の科学館・虹の下水道館の見学、年1回 ・玉川上水等市内各所、年2回	夏休み子ども見学会は都合により中止となったが、自然観察会は2回実施した。	B	26,000	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業	参画型	
74	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	39	子どもや親子を対象とした市内外のフィールドでの環境学習を継続して実施していく中で、参加した子どもや親子の環境や郷土に対する関心を高め、継続的な関わりにつなげるよう、事業間の連携を強化します。	地域、市民の環境学習の推進	教育部	公民館	公民館係		環境講座の実施(2コース4~6回) →生活に身近な視点から、国際社会が直面している環境問題を考える事業と、地域の環境を知るフィールドワークやワークショップなどを実施する。	環境講座を2コース4回実施。地球規模で見た温暖化について学ぶ講座や、食品ロスから資源を考える講座を実施した。	A	90,000	教育費	社会教育費	公民館費	公民館本館運営事業	統合性	
75	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	39	子どもや親子を対象とした市内外のフィールドでの環境学習を継続して実施していく中で、参加した子どもや親子の環境や郷土に対する関心を高め、継続的な関わりにつなげるよう、事業間の連携を強化します。	地域、市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館		片倉跡地(森田製糸跡地)において、熊川分水の自然や歴史的な景観を観察し、分水と地域との関りについて学ぶフィールドワークを1回実施する。 NPO自然環境アカデミー、熊川分水に親しむ会との協働事業	熊川分水たんけん隊を1コース1回実施。 NPO法人自然環境アカデミー、熊川分水に親しむ会との協働で実施した。	A	40,000	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業	統合性	
76	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	39	大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を継続して実施していく中で、環境や地域の課題に目を向けて行動できるきっかけとなるよう、庁内他部署との連携を強化します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	松林分館		地球温暖化について、日々の生活から改善できる点や見直すべき点について、改めて考える機会となる事業を実施する。	環境講座を1コース2回実施。福生の自然の特徴とその変化について学んだ。	A	60,000	教育費	社会教育費	公民館費	松林会館運営事業	統合性	
77	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	39	大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を継続して実施していく中で、環境や地域の課題に目を向けて行動できるきっかけとなるよう、庁内他部署との連携を強化します。	地域、市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館		木を使ったものづくりを通して自然に触れ、環境問題を考える講座を実施する。 1コース 3回	環境木育講座「身近な自然から木と関わる~間伐材で丸太づくり~」を1コース3回実施。	A	37,500	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業	統合性	
78	環境教育・学習の推進	③環境学習を支える人材の確保	39	ふっさ環境市民会議など、既存の団体の支援を通じて活動の拡充を図るとともに、福生水辺の楽校などの運営を通じたボランティアスタッフの育成を継続して行います。 あわせて、環境リーダー制度の更なる拡充を図るとともに、他部署における人材登録制度の状況も踏まえ、連携の可能性を検討します。	協働による環境施策推進の担い手の確保	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	継続して福生水辺の楽校「多摩川サポーターズ」の活動などを通じて担い手の育成及び環境リーダーへの認定を通じて、人材の確保と活躍の場の提供に努める。 また、環境基本計画改定のための市民会議を公費等により組織し、市民参加による改定作業を行い、6回の会議等を通じて、次なる担い手の育成に努めた。	「多摩川サポーターズ」は、計画通り2回実施することができたが、参加者の低年齢化等により、環境リーダーの育成には直結しなかったが、2名の候補者の新規認定を行った。 また、環境基本計画改定のための市民会議を公費等により組織し、市民参加による改定作業を行い、6回の会議等を通じて、次なる担い手の育成に努めた。	B	1,840,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型	